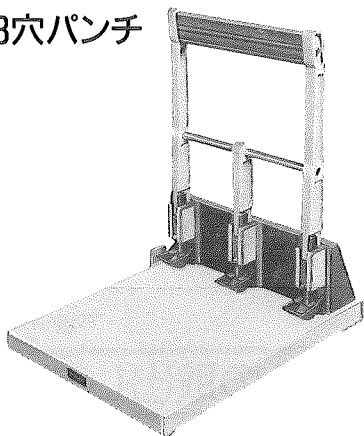


# 強カパンチ NEW KON MODEL 48

## 取扱説明書

このたびは「ニューコン強カパンチ」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい取扱方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書は、わからないことや故障したときにお役立ていただくためにも、大切に保存して下さい。

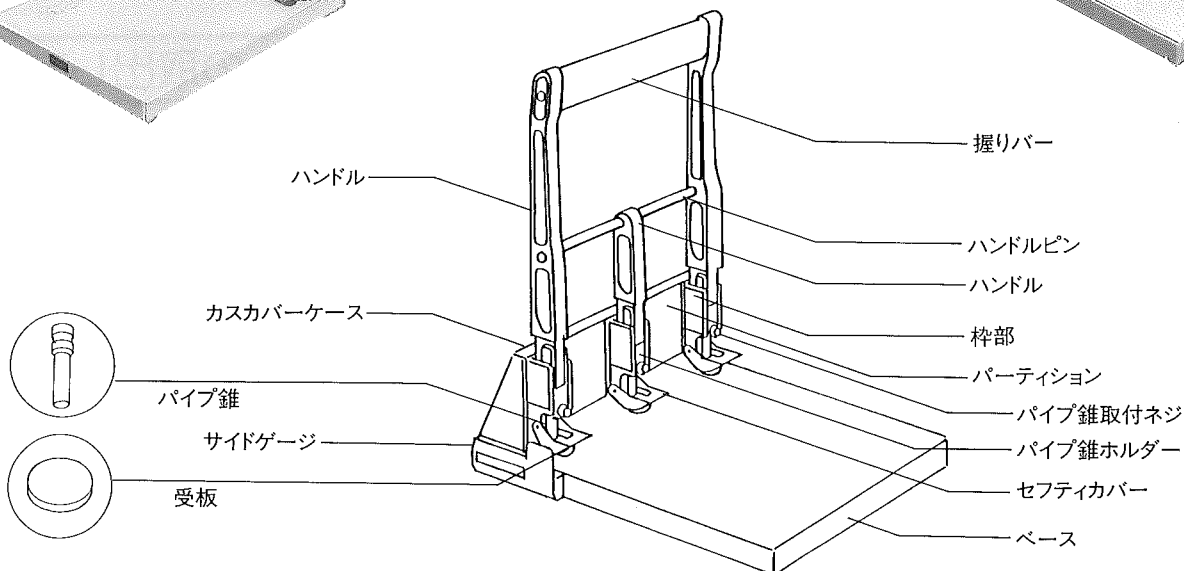
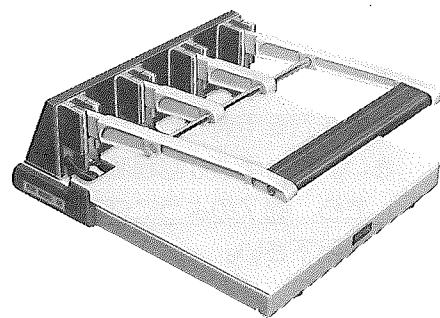
### 3穴パンチ



#### ■仕様

項目	種類	3穴パンチ	4穴パンチ
寸法mm(L×W×H)		337×276×117	337×300×117
ハンドルを立てた高さ		373	373
重量		4.1kgs	4.6kgs
穿孔能力		16mm	16mm
杵径		7.0mm	6.0mm
ピッチ		108mm	80mm
奥行(穴の中心から)		13mm	13mm

### 4穴パンチ



### 操作手順

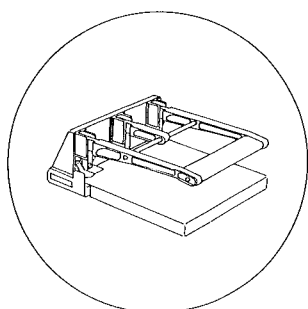


図1. ご使用されない時はハンドルを倒した状態にして下さい。

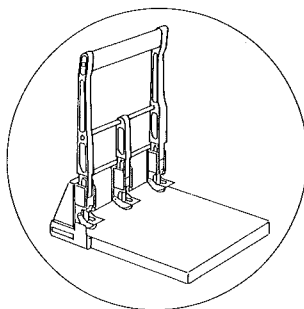


図2. ご使用時はハンドルを一杯まで上げて下さい。

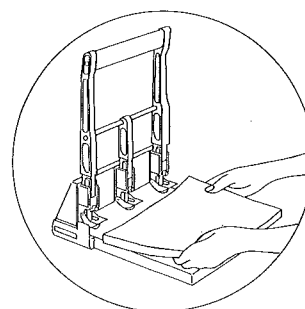


図3. 用紙を左サイドのゲージに当て奥に突きあてて下さい。

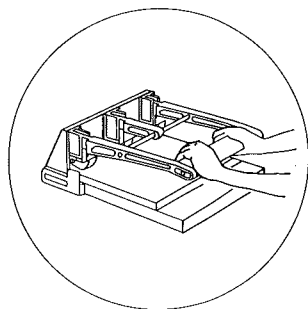


図4. ハンドルを両手で手前一杯まで押し下げて下さい。

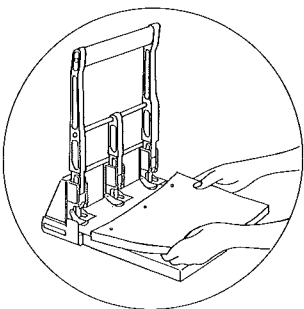


図5. パンチが完了したらハンドルを元の位置まで戻し用紙を取り出します。

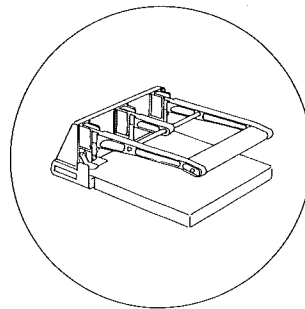


図6. パンチが完了しましたら、手順1の状態にします。

## 強力パンチ受板交換方法

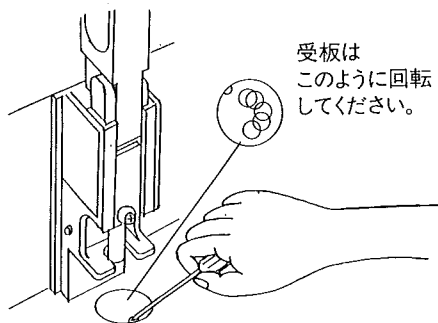


図7.

受板は360°回転します。先の尖った物を回転用溝に当てまわして下さい。1カ所200回程度使用しましたら、図7のようにダブラせてご使用下さい。

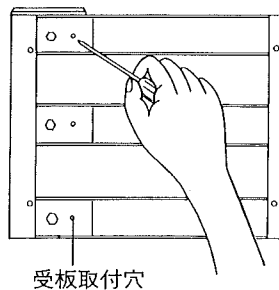


図8.

受板の交換方法は、ハンドルが上った状態で横にし、ベースの裏側の受板取付穴をドライバー等で突き出して下さい。

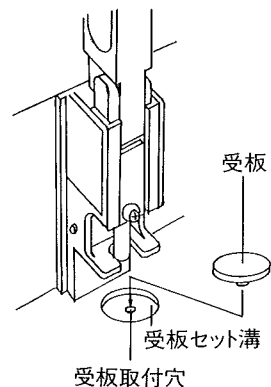


図9.

受板の取付けは、受板取付穴に受板の取付穴用突起部をしっかりと差し込んで下さい。

## パンチカスの取出し方法

### 強力パンチパイプ錐交換方法

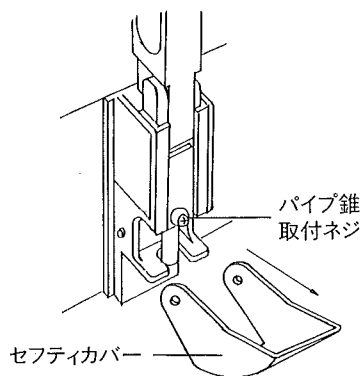


図10.

セフティカバーの両サイドを両手で外側に開きセットピンからはずし手前に引き出します。

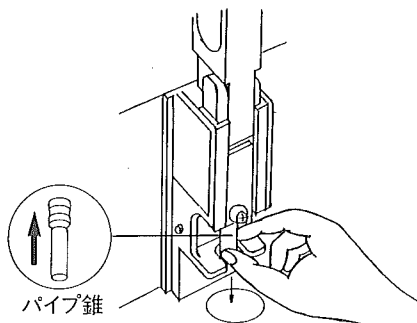


図11.

附属ドライバーにて、パイプ錐取付ネジをゆるめ、パイプ錐を下方に取り出して下さい。この際、パイプ錐は刃物ですので十分ご注意ください。

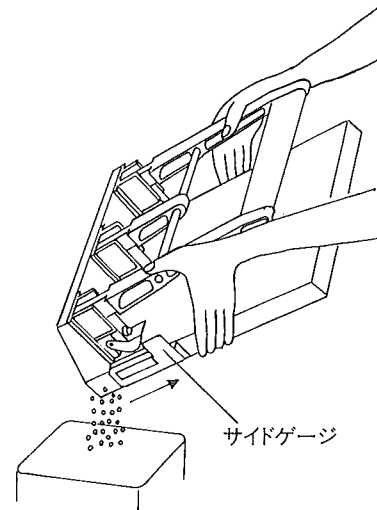


図12.

図のようにサイドゲージを手前にスライドし、抜きカスの取り出し口からゴミ受にお捨て下さい。

※ カスのたまり過ぎは、故障の原因となりますので、こまめに掃除して下さい。

※ パイプ錐の取付けは、上記の逆の操作をお願いします。(図11、10)

### ご使用上の注意

1. 刃物ですので取り扱いには十分ご注意ください。
2. パイプ錐の受板への回数は1箇所200回程度にしますと、パイプ錐の切刃が保てます。
3. 下記のようなものは、パイプ錐の刃先を痛める場合がありますのでご注意ください。  
紙以外のもの — 金属、プラスチック、ゴム、繊維、革等 —
4. 下記のような紙は、打抜きカスがつまりロック、又はパイプ錐の損傷の原因となります。

— ビニールコートされた紙、糊付紙、布付紙、湿気を含んだもの等 —

5. 刃の切れ味が悪くなったり、万一破損した場合、刃は同時に交換してください。(左右で切れ味が異なると、片側に負担がかかり刃の寿命が短くなります。)
6. パンチ後のカスのたまり過ぎは、故障の原因となりますので、こまめに掃除してください。

● 強力パンチには、強力パンチ錐、強力パンチ受板をご使用ください。